

ISSN 1882-0468

ISSN-L 1882-0468

NDL 書誌情報ニュースレター

2020 年 2・3 号(通号 53・54 号)

目 次

第 44 回 ISSN センター長会議参加報告—ISSN ネットワークの新たな取組み (逐次刊行物・特別資料課 永井善一)	1
BIBFRAME のいま (収集・書誌調整課 村上一恵)	9
コラム:外国刊行洋図書への典拠リンク拡大について (外国資料課 早川萌)	19
お知らせ:和図書の著者標目付与数を拡大しました(2020 年 4 月) (国内資料課)	20
お知らせ:「日本十進分類法(NDC)新訂 10 版分類基準」を改訂しました(2020 年 6 月) (収集・書誌調整課 書誌調整係)	22
お知らせ:令和元年度書誌データ統計を掲載しました (収集・書誌調整課 書誌サービス係)	23
お知らせ:NDL-Bib の終了について(予告) (収集・書誌調整課 書誌サービス係)	24

第 44 回 ISSN センター長会議参加報告—ISSN ネットワークの新たな取組み

【はじめに】

第 44 回 ISSN (International Standard Serial Number: 国際標準逐次刊行物番号) センター長会議が、2019 年 11 月 12 日から 16 日まで、インド・デリーの国立農業科学センター複合施設 (National Agricultural Science Centre (NASC) Complex) で開催されました。会議には、開催国のインドを含めて 14 か国のナショナルセンター [1] と ISSN 国際センターから約 30 名が参加しました。

会議の中から、いくつかの話題をご紹介します。



図 1 ISSN センター長会議の会場となったインド・デリーの国立農業科学センター複合施設

1. ISSN 規格 (ISO 3297) の改訂

前回 (第 43 回) 会議 [2] の報告でお伝えした ISSN 規格の改訂の進捗状況として、ISO 3297 第 6 版は間もなく最終国際規格案 (FDIS) 投票で承認されるであろうとの説明がありました [3]。

また、ISSN 規格改訂を受けて ISSN 国際センターが実施予定の ISSN マニュアル [4] の更新については、内容を見直した上で複数言語への翻訳を行うことを考慮すると、規格改訂から 2 年間のスケジュールで対応することが妥当との説明がありました。

今回の ISSN 規格の改訂のポイントは、1) 「Registration Authority」と「Registration Agencies」に関する用語整理と役割の明記、2) ISSN クラスター (ISSN Cluster) の新設、3) ISSN の機械可読形式での記録方法の詳

細化です。

(1) 「Registration Authority」と「Registration Agencies」に関する用語整理と役割の明記

「Registration Authority」は国際的な ISO 登録機関、「Registration Agencies」は各国内の ISO 登録機関であり、前者は後者に対し、ISO との協定に基づく登録サービスの一部を委任します。前回会議の報告でもお伝えしたように、ISSN 国際センターは ISSN の「Registration Authority」として認定されています。今回の改訂で、規格では「ISSN International Centre」(ISSN 国際センター)や「ISSN National Centre」(ナショナルセンター)の語を使用せず、ISSN 国際センターは「Registration Authority」、ナショナルセンターは「Registration Agencies」として改めて位置づけられます。

(2) ISSN クラスターの新設

ISSN クラスターとは、「Registration Authority」が、ISSN 登録済み資料のクラスター (cluster。この場合、互いに関連する複数資料のまとまりを指します) を識別する必要があると判定した場合に設けられる識別子です。接頭辞は「ISSN-X」の形で、「X」の部分にはクラスターの種類を表すアルファベットが入ります。規格では、このような識別子を設けることができる旨のみが定められ、具体的な付与対象や方針等は「Registration Authority」に一任されます。なお、例示には、現行の ISSN-L (他の媒体版をまとめる識別子) [5]に加え、以前のタイトル・現在のタイトル・将来のタイトルをまとめるもの、様々な言語の版をまとめるものが挙げられています。

(3) ISSN の機械可読形式での記録方法の詳細化

ISSN の機械可読形式での記録方法の詳細化としては、これまで同様に人の目による ISSN の識別を想定した ISSN 表示の章とは別に、「ISSN Machine Legibility」(ISSN の機械可読性) の章が新設され、[ダブリンコア \(Dublin Core\)](#)、[MODS](#)、[MARCXML](#) の各形式のメタデータへの記録方法が示されます。

2. ISSN+に関するプロジェクトについて

ISSN データベースの現行システムである ISSN Virtua は 2004 年から稼働していますが、そのデータ作成機能部分に代わる新システムとして、ISSN+が開発されているところです[6]。今回の会議で最初のモジュールが披露されました。

ISSN+では、新たなワークフローとして、ISSN の発番から登録までの流れと目録作成作業を一元管理することが可能になる模様です。オープンソースの技術を用いたウェブアプリケーションにより、対象データの多様なインデックス作成 (デフォルトですべてのタグとサブフィールドのインデックスを作成、適合度ランキング、ファセット検索可能) などを扱えるようになる予定です。

今回の会議では、ナショナルセンターからの志願者を含む ISSN+利用者グループでの議論について、議事録を ISSN ネットワークの全メンバー国に早期に共有することや、ISSN 国際センターによる研修の計画、グラフィックアイテム増設やカラスキームの導入等を通じたユーザエクスペリエンスの向上などが決議されました。

3. ISSN 国際センター戦略について

2020年から2024年を対象期間とした新たなISSN国際センター戦略(以下、「戦略」)について、理事会(Governing Board)で検討されている内容の概略が今回初めて明らかになりました。この戦略はISSN国際センターに限らず、各国のナショナルセンターを含む、ISSNネットワーク全体に関係する今後5年間の活動の方向性を示すものです。

戦略については、まず2019年10月の理事会で次の四つの範疇が選定されました。

- (1) ISSNを付与する新しい資源
- (2) ISSNデータの強化と正確性
- (3) ISSN Portal[7]経由の新サービス
- (4) 新しいナショナルセンター

今回の会議では、これらの範疇に属する七つの選択肢が挙げられました。

- ・ 選択肢1: ISNI (International Standard Name Identifier: 国際標準名称識別子) の付与 (ISSN国際センターによるISNIの付与の検討)
- ・ 選択肢2: 新しいナショナルセンター (より多くの国への新たなナショナルセンターの設置)
- ・ 選択肢3: Family Tree ISSN (以前のタイトル・現在のタイトル・将来のタイトルをまとめるISSNクラスターの想定)
- ・ 選択肢4: ISSNにより識別される新しい資源 (主にリポジトリへのISSN付与の拡大)
- ・ 選択肢5: デジタル逐次刊行物のURL更新、タイトルDOIの付与 (ISSNを登録済みのオンラインジャーナルのURL更新)
- ・ 選択肢6: Keepers Registry[8] (ISSN国際センターによるKeepers Registryの引継ぎとISSN Portalへの統合、プロジェクト拡大)
- ・ 選択肢7: ISSN Portalの強化と宣伝 (2018年1月にリニューアルしたISSN Portalについて、詳細な説明の必要性和宣伝拡大)

最終的な戦略は、さらなる検討の上、2020年4月から5月にかけて地域ごとにオンラインで行われる総会で提示され、その後、ISSNネットワークの全メンバー国によるウェブ投票にかけられる見込みです[9]。



図 2 会議の様子

【おわりに】

次回の第 45 回 ISSN センター長会議は 2020 年 10 月にエジプトのカイロ[10]で、第 46 回会議は 2021 年にドイツのフランクフルトで開催される予定です。

今後も、ISSN ネットワークの新しい取組みに注目していきます。

永井 善一

(ながい よしかず 逐次刊行物・特別資料課)

- [1] フランス・パリにある ISSN 国際センターと、各国のナショナルセンターからなる ISSN ネットワークについて、また、日本のナショナルセンターである ISSN 日本センターについては、以下のページをご覧ください。国立国会図書館. “ISSN 日本センター (ISSN 日本センターについて)” .

<https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor07>, (参照 2020-07-03) .

- [2] 前回の会議の参加報告は、本誌 2019 年 1 号 (通号 48 号) をご覧ください。

長嶺悦子. 第 43 回 ISSN センター長会議報告—より活用される ISSN へ、

http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11257469_po_2019_1.pdf?contentNo=1#page=2, (参照 2020-07-03) .

- [3] 2020 年 6 月 26 日から 8 月 21 日までの期間に 2 度目の最終国際規格案 (FDIS) 投票が行われます。

International Standard Serial Number International Centre. “Second FDIS ballot for ISO standard 3297” .

<https://www.issn.org/second-fdis-ballot-for-iso-standard-3297/>, (参照 2020-07-03)

ISO のホームページによると、その後 8 月下旬に承認され、次の段階に進んでいます。

- [4] ISSN ネットワーク内で使用する ISSN マニュアルは、以下に掲載されています（日本語訳は最新版ではありません）。

国立国会図書館. “ISSN 日本センター（ISSN 日本センターについて）” .

<https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor07>, （参照 2020-07-03） .

- [5] ISSN-L については、以下のページをご覧ください。

国立国会図書館. “ISSN 日本センター（ISSN-L について）” .

<https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor10>, （参照 2020-07-03） .

- [6] 最低限必要な開発が 2020 年 10 月までに行われる予定です。

International Standard Serial Number International Centre. ISSN International Centre activity report for 2019. p. 19-20,

https://www.issn.org/wp-content/uploads/2020/06/ISSN_RAPPORT_ACTIVITE_2019_ENGL_final10June.pdf,

（参照 2020-07-03） .

なお、2021 年には追加開発が行われるとのことです。

- [7] ISSN Portal については、以下のページをご覧ください。

国立国会図書館. “ISSN 日本センター（ISSN Portal について）” .

<https://www.ndl.go.jp/jp/data/issn/index.html#anchor11>, （参照 2020-07-03） .

- [8] Keepers Registry は、複数のアーカイブ機関により収集されたデジタル逐次刊行物のメタデータを長期保存するサービスで、現在は ISSN Portal に統合されています。ISSN 国際センターは 2019 年 12 月に、英国・エディンバラ大学の国立データセンター（EDINA: Edinburgh Data and Information Access）からこのサービスを引き継ぎました。

ISSN Portal (Keepers Registry) .

<https://keepers.issn.org/>, （参照 2020-07-03） .

- [9] その後、戦略は 2020 年 5 月に承認され、概要がパンフレットとして公開されました。

International Standard Serial Number International Centre. ISSN International Centre 2020-2024 strategy. 2020, 9p,

<https://www.issn.org/wp-content/uploads/2020/07/Strategy-ENG.pdf>, （参照 2020-09-04） .

- [10] ただし、第 45 回会議はオンライン開催の可能性がありますが（2020 年 6 月末現在）。

BIBFRAME のいま

【はじめに】

「[国立国会図書館書誌データ作成・提供計画 2018-2020](#)」では、ウェブ環境に適した書誌フレームワークへの対応を長期的な課題として掲げ、書誌フレームワーク BIBFRAME を中心とした国際動向の調査を進めてきました。

2020 年 6 月末現在、米国議会図書館（LC）は 2015 年に始まった BIBFRAME 試行プロジェクトを継続中であり、また、さまざまな図書館関係機関が BIBFRAME のデータモデルを基礎としたメタデータの作成・提供を始めています。

この記事では、本誌 [2017 年 3 号](#)に続き、主に 2017 年以降の BIBFRAME 試行プロジェクトと、欧州を中心とした BIBFRAME に関する動向についてご紹介します。

1. BIBFRAME とは

まず、BIBFRAME について、簡単におさらいしておきましょう。

BIBFRAME は、長い間図書館コミュニティで書誌データ・典拠データの流通を担ってきた MARC フォーマットに代わる「いれもの」として、LC が開発した書誌フレームワークです。書誌データ・典拠データに記録されてきた情報を RDF[1]に従った構造に変えて、MARC フォーマットと同等のきめ細かさを維持しつつほかのデータとつながるデータ（リンクトデータ）にすることで、図書館コミュニティ以外でも活用されることを目指しています。書誌データ・典拠データをリンクトデータにするということは、『[書誌レコードの機能要件](#)』（FRBR）[2]などで示された書誌概念モデル、さらにそれらを基礎とした目録規則である [RDA \(Resource Description and Access\)](#) や『[日本目録規則 2018 年版](#)』の考え方にも合致します。



図1 FRBR 概念モデルと BIBFRAME 2.0 モデルの比較

（FRBR の第 1 グループの実体（著作・表現形・体现形・個別資料）部分。村上春樹『1Q84』を例として）

2012 年に提案された BIBFRAME 1.0 に代わって、2016 年に [BIBFRAME 2.0](#) が公表され、2020 年 6 月末現在これが最新のデータモデルとなっています。BIBFRAME 2.0 は、FRBR 概念モデルでいう著作と表現形にほぼ相当する「Work」、体现形に相当する「Instance」、個別資料に相当する「Item」の三つの主要なクラスからなり、FRBR 概念モデルでいう個人・家族・団体（IFLA LRM[3]でいう行為主体）に相当する「Agent」、主題を表す「Subject」、Work の対象となる出来事「Event」という、主要なクラスに関連する三つの重要な概念を設定しています。これらのほかにもさまざまなクラスとプロパティが設けられており、資料の同定・識別・探索などに必要な情報を格納できるようになっています[4]。

ここからは、特に断らない限り、単に「BIBFRAME」というときは BIBFRAME 2.0 を指します。BIBFRAME 2.0 モデルを基礎としたメタデータを「BIBFRAME データ」といいます。なお、本記事においては FRBR 概念モデルの実体との混同を避けるため、「Work」「Instance」「Item」「Agent」といった BIBFRAME のクラスなどは日本語に訳さないこととします。

2. BIBFRAME 試行プロジェクト

LC では、BIBFRAME の試行プロジェクトを、2020 年 6 月末現在も継続中です。試行プロジェクトの第 2 フェーズともいえる今期は、より実際の目録作業フローに即して試行することや、既存書誌データを BIBFRAME データへ変換してデータベースを構築することなどを目標としています。現在では、単行資料、逐次刊行物、貴重書、楽譜、地図、映像資料、録音資料などのさまざまな資料について BIBFRAME データを作成し、リンクトデータサービス [ID. LOC. GOV](#) で提供しています。

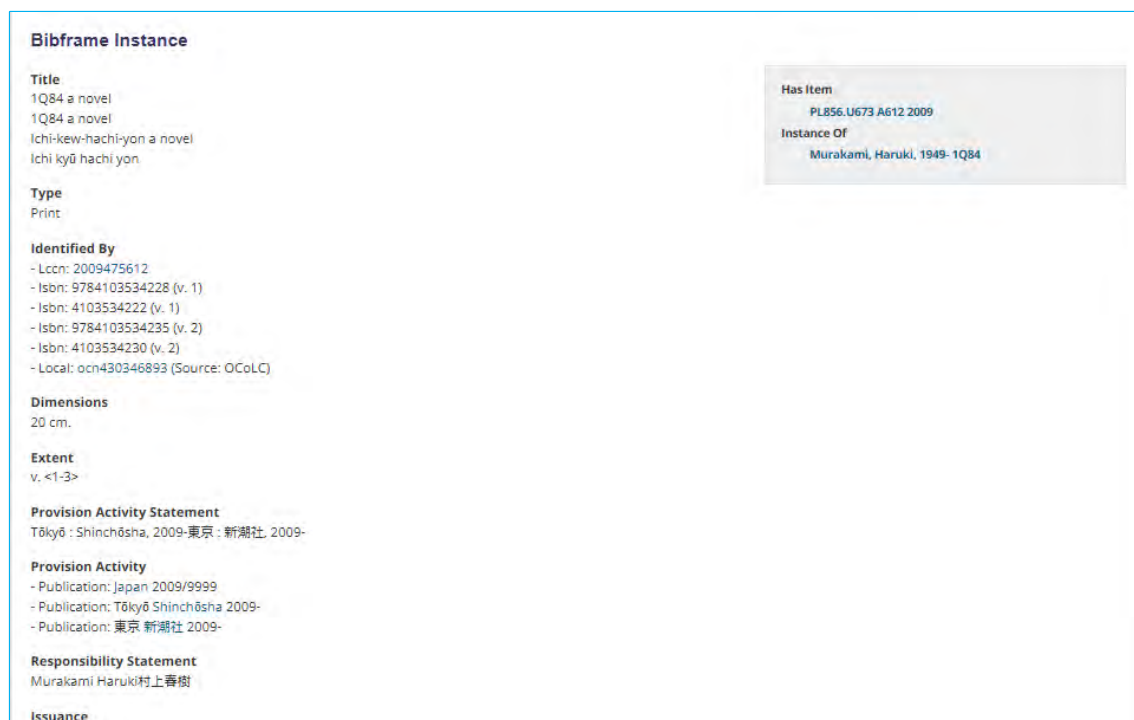


図 2 LC [ID.LOC.GOV](https://id.loc.gov/) の Instance の例

(村上春樹『1Q84』 <https://id.loc.gov/resources/instances/15899209.html>)

画面右上に Item、Work へのリンクがあります。

LC は、MARC 21 から BIBFRAME への変換ツールを、2017 年 3 月から公開しています[5]。ただし 2019 年 6 月公開版においても、漢字やキリル文字などの非ラテン文字と、その翻字形の対応の表現などに課題が残っています[6]。LC では、2020 年にこの点を修正し、非ラテン文字も BIBFRAME データベースに統合していくとしています。

BIBFRAME データから MARC 21 データへの変換ツールも 2020 年 5 月に公開し、必要に応じてバージョンアップしていく予定です[7]。MARC 21 データから BIBFRAME データへの変換で課題となっている非ラテン文字も MARC 21 の正規フィールド（たとえば、本タイトルであれば 245 フィールド）に変換しており、880 フィールドを使った対応表現は用いていません。また、リンクトデータの特性を保てるよう、BIBFRAME データで保持している URI を、2017 年に MARC 21 フォーマットに新設された URI を格納するためのフィールド、サブフィールドに格納するようにしています。LC をはじめ既存の MARC 21 データの多くが[国際標準書誌記述 \(ISBD\)](https://www.isbd.org/)に基づく区切り記号を使用していますが、BIBFRAME データには区切り記号がありません。この変換ツールでは、MARC 21 データに変換する際に区切り記号を追加しないこととしています。

LC は、要望がある限りはすべての書誌データ・典拠データの MARC 提供を継続するとしています。変換ツールの開発は試行プロジェクトの重要な一面となっています。

3. 欧州 BIBFRAME ワークショップ

欧州では、BIBFRAME 1.0 が公表された当初から、ドイツ国立図書館やフランス国立図書館などで、BIBFRAME 1.0

を基礎としたメタデータの試行提供が行われてきました。これらの機関は現在、BIBFRAME 2.0 を基礎としたメタデータ提供を行っています。そのほか、各国の図書館関係機関でも、BIBFRAME の実装に向けた検討が進んでおり、実際にメタデータ作成を始めているところもあります。この節では、このような動きを受けて 2017 年から毎年開催されている、欧州 BIBFRAME ワークショップ (European BIBFRAME Workshop) の概要をご紹介します。

欧州 BIBFRAME ワークショップは、欧米の図書館や関連機関などによる、BIBFRAME についての研究成果、実装の紹介、意見交換などが行われる会議です。参加国数も参加者数も増加傾向にあり、BIBFRAME への関心が各国で年々高まっていることがうかがえます。

第 1 回は 2017 年 9 月にドイツ国立図書館で開催され、16 か国 40 名が参加しました[8]。会議の成果物として、統合図書館システム (ILS) ベンダー向けに「[ILS 入札に対する BIBFRAME の期待 \(BIBFRAME expectations for ILS tenders\)](#)」(PDF: 395KB) がまとめられました。これは、ILS に BIBFRAME を段階的に実装する際の各段階での要件を示したもので、次の 10 段階に分かれています。

1. BIBFRAME への変換が準備できるような、高品質の MARC データを作成できるようにする[9]。
2. BIBFRAME を含むさまざまな形式に変換できるよう、変換ツールを用意する (ILS 外でもよい)。
3. ILS に接続された BIBFRAME コンバータを用意し、大量のデータ変換ができるようにする。
4. ILS とリンクした、BIBFRAME データを作成および編集するためのツールを用意する。
5. ILS 内に (MARC と BIBFRAME 両方の) データベースを持ち、BIBFRAME データの作成・更新などの作業が MARC データベースにも反映されるようにする。
6. BIBFRAME でメタデータを作成できるようにする。加えて旧来のシステムと接続してデータ変換・管理を行えるように、API などのサービスを用意する。
7. 第 6 段階の要件に加え、ILS 全体が RDF でデータ作成・管理するようになる。
8. BIBFRAME のためのツール類を、BIBFRAME モデルの進化に対応させていく。
9. BIBFRAME モデルに対応した OPAC・ディスカバリツールを提供する。
10. ベンダーはプロジェクトに関するドキュメントを共有し、将来的にもシステムを管理できるようにする。

第 2 回は 2018 年 9 月に、イタリアの出版取次会社である Casalini.Libri 社と欧州大学院 (European University Institute) の共催で、イタリア・フィレンツェで開催され、17 か国 80 名が参加しました[10]。スウェーデン国立図書館から、同年 6 月に提供が始まったばかりの [Libris XL](#) が紹介されたほか、ハンガリー国立図書館における調査、フィンランドにおける BIBFRAME を経由した [Schema.org](#) 語彙でのデータ提供実験、北米の大学図書館などによる共同リンクトデータのプロトタイプ・プラットフォームである [Share-VDE](#) などが紹介され、BIBFRAME の実装が調査段階から提供段階に移行しつつあることを示す内容となりました。また、大手 ILS ベンダーの Ex Libris 社は、同社製品の Alma が、前述の「ILS 入札に対する BIBFRAME の期待」で示された要件第 3 段階まで進んでいる旨を報告しました。

第 3 回は 2019 年 9 月にスウェーデン国立図書館で開催され、19 か国 93 名が参加しました[11]。1 日目は各機関の最新動向報告で、LC の検討状況のほか、米国の大学図書館などで進められているリンクトデータプロジェク

トである [LD4P](#)、Libris XL、Share-VDE などの取組状況が報告されました。2 日目は、アイデンティティ管理、データ更新機関および根拠の記録、URI の提供、関連の記録、データ編集ツールについて、という五つのテーマに分かれて、各機関の対応状況報告と、それらをふまえた議論がなされました。

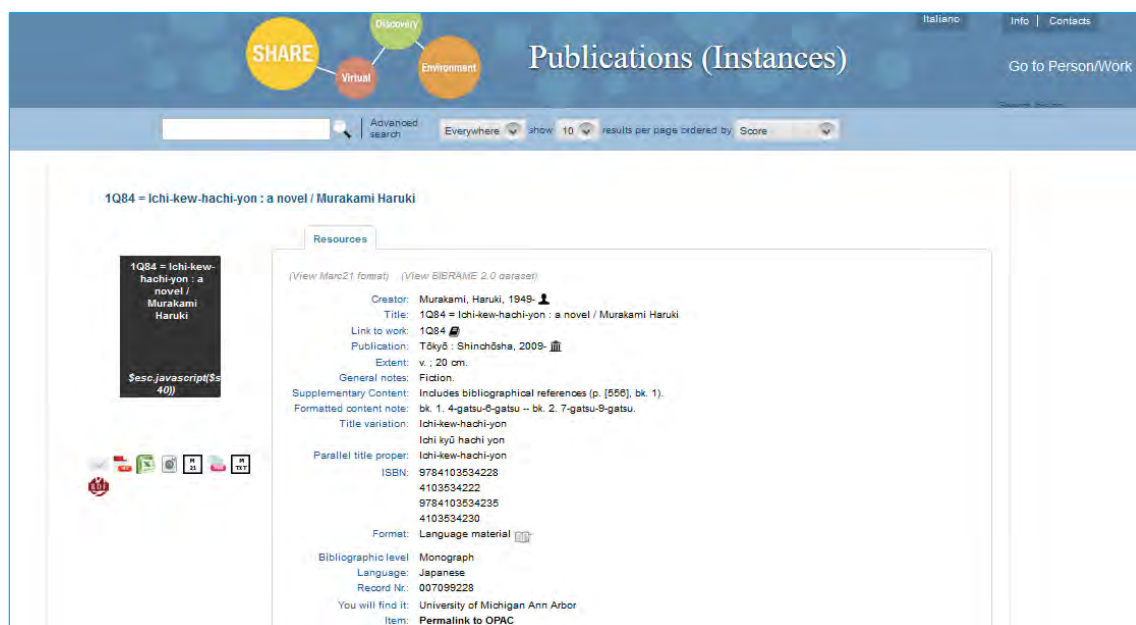


図 3 [Share-VDE](#) の Instance の例（村上春樹『1Q84』）

<https://www.share-vde.org/sharevde/resource?uri=UMICH007099228&v=1&dcnr=5&l=en>）。

1 行目に Agent（表示ラベルは Creator）へのリンク、3 行目に Work へのリンクがあります。

第 4 回ワークショップは、2020 年 9 月にハンガリー国立図書館で開催される予定です（2020 年 6 月末現在）。

第 2 回、第 3 回で紹介されたスウェーデン国立図書館は、MARC を基礎とした書誌データ・典拠データ作成をやめ BIBFRAME で図書館資料のメタデータ作成を行う、初めての国立図書館となりました[12]。次節では、スウェーデン国立図書館の取組みについて詳しく見ていきます。

4. Libris XL：スウェーデン国立図書館の BIBFRAME 導入事例

スウェーデン国立図書館では、2018 年 6 月から BIBFRAME でのデータ作成を開始し、同時に [Libris XL](#) で BIBFRAME データの提供を開始しました。スウェーデンの全国書誌をはじめとした書誌データをリンクトデータにするために、20 年以上使用してきた MARC 21 から BIBFRAME へ、メタデータの「いれもの」を移行しました。

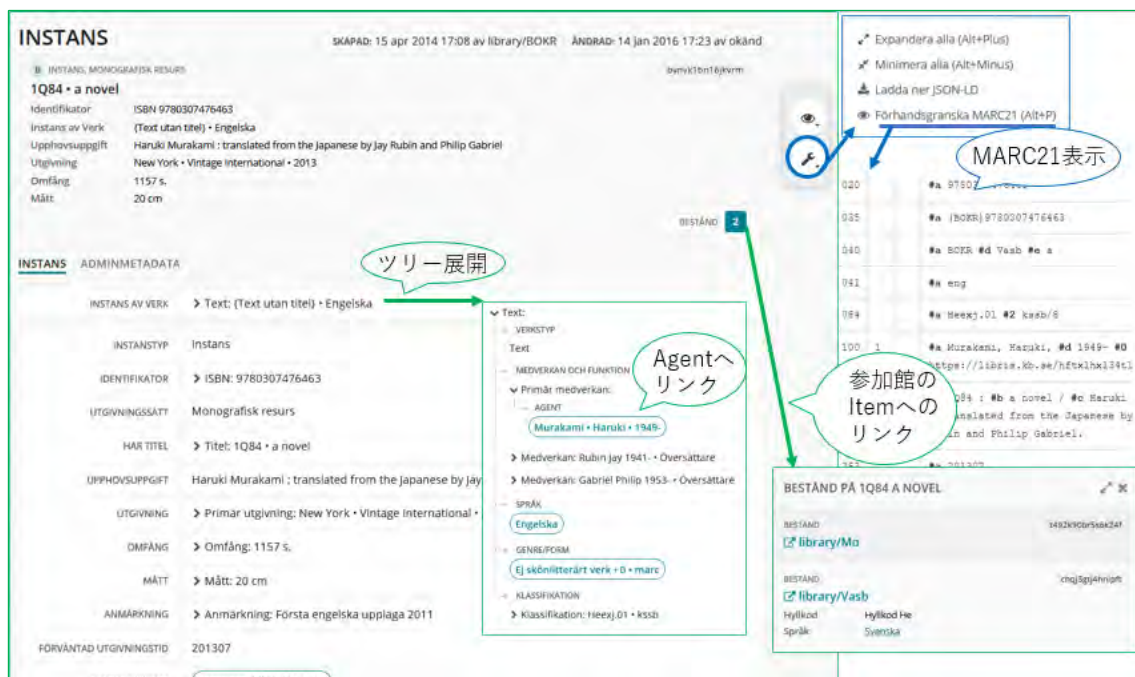


図4 Libris XL の Instance 例

(村上春樹『1Q84』 <https://libris.kb.se/katalogisering/bvrvklbnl6jkvrn>)

図4はLibris XLのInstanceの詳細表示画面の例です。このInstanceが紐づくWorkは、ツリー表示を展開すると見るできるようになっています。Workから、関連するAgentの画面へ移動することもできます。また、このInstance例では、紐づくItemを所蔵している総合目録参加館が2館あることがわかります。数字部分をクリックすると所蔵館へのリンクが表示されます。

データのダウンロードは、JSON-LD形式が用意されており、詳細表示画面右上にある工具アイコンから選択できます。同じ工具アイコンからの選択で、MARC 21データを見ることもできます。スウェーデンでは大学図書館を中心にMARC 21データの需要がいまだ多いため、スウェーデン国立図書館ではMARC 21データの提供も継続しています。

スウェーデンでは、2020年5月末現在、国内の約300の図書館が総合目録の参加館となっています。各館が容易にBIBFRAMEへ移行できるように、スウェーデン国立図書館はユーザマニュアルや研修動画、ヘルプフォーラムを公開するなど、手厚いサポート体制を敷いています。

【おわりに】

3.でご紹介した「ILS入札に対するBIBFRAMEの期待」で示された要件は、ILSに限らず、各図書館関係機関のBIBFRAME対応状況を整理するのにも役立ちます。LCの試行プロジェクトではBIBFRAMEエディタを使ったデータ作成・ディスカバリツールの提供まで進んでいる一方、MARCデータの作成・提供が並行して行われており、データ変換ツールの開発途上にあるといえます。データ変換ツールが完成すれば、ほぼすべての要件を満たすことが

できるでしょう。スウェーデン国立図書館は、第 6 段階で示された BIBFRAME 環境でのオリジナルの目録作成をはじめており、第 9 段階のディスカバリツールの提供も実現しています。

国立国会図書館 (NDL) は、書誌データに関しては[国立国会図書館サーチ](#)で、典拠データに関しては[国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス \(Web NDL Authorities\)](#)で、「[国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述 \(DC-NDL\)](#)」を基礎としたリンクトデータを提供しています。しかし、目録規則に基づき記録し MARC 21 フォーマットで維持してきた詳細な情報を、ダブリンコア (Dublin Core) よりも適切に表現でき、かつリンクトデータに対応できるデータモデルが BIBFRAME です。NDL では、各国の動向を引き続き注視しながら、BIBFRAME 対応を視野に入れたより具体的な検討をこれから進めていきます。

村上 一恵

(むらかみ かずえ 収集・書誌調整課)

[1] RDF (Resource Description Framework) では、主語・述語・目的語の三つ組でメタデータを表します。ここでいう主語・目的語は、情報のタイプを表す「クラス」としてモデル化されます。述語は「プロパティ」としてモデル化され、主語と目的語のさまざまな関係を表現します。

[2] 日本語訳は以下に掲載されています。

書誌レコードの機能要件 : IFLA 書誌レコード機能要件研究グループ最終報告 (IFLA 目録部会常任委員会承認). 日本図書館協会. 2004, 121p,

<https://www.ifla.org/files/assets/cataloguing/frbr/frbr-ja.pdf>, (参照 2020-06-30).

また、当館ホームページの目録に関する国際的な動向のページから本文と日本語訳へのリンクを掲載しています。

国立国会図書館. “目録に関する国際的な動向 (書誌レコードの機能要件 (FRBR))”.

https://www.ndl.go.jp/jp/data/basic_policy/international/index.html#anchor01-1, (参照 2020-06-30).

[3] IFLA LRM (Library Reference Model) について詳しくは、以下をご覧ください。

Pat Riva, Patrick Le Bœuf, Maja Žumer 著 ; 和中幹雄, 古川肇 訳者代表. IFLA 図書館参照モデル : 書誌情報の概念モデル, 樹村房, 2019.

和中幹雄. 動向レビュー : IFLA Library Reference Model の概要. カレントアウェアネス. 2018-03-20, (335),

<https://current.ndl.go.jp/ca1923>, (参照 2020-06-30).

[4] BIBFRAME 2.0 について詳しくは、以下をご覧ください。

柴田洋子. ウェブ環境に適した新しい書誌フレームワーク : BIBFRAME. NDL 書誌情報ニューズレター. 2016 年 2 号 (通号 37 号),

https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_9990074_po_2016_2.pdf?contentNo=1#page=2, (参照 2020-06-30).

[5] LC は、MARC 21 から BIBFRAME への変換ツールとして、以下を開発し公開しています。

変換仕様

“MARC 21 to BIBFRAME 2.0 Conversion Specifications”.

<https://www.loc.gov/bibframe/mtbf/>, (参照 2020-06-30).

変換ツール

“Convert MARC records to BIBFRAME2 RDF” .

<https://github.com/lcnetdev/marc2bibframe2>, (参照 2020-06-30).

比較ビューワ

“Compare MARC converted to BIBFRAME” .

<https://id.loc.gov/tools/bibframe/compare-id/full-ttl>, (参照 2020-06-30).

- [6] JAPAN/MARC MARC21 フォーマットでは、正規フィールドに漢字形を、880 フィールドに片仮名読み・ローマ字読み形を記録しています。それぞれのサブフィールド\$6 に記録するオカレンス番号で、正規フィールドと 880 フィールドの対応付けをしています。これは [LC の MARC 21 フォーマットの付録 D「マルチスクリプトレコード」のモデル A](#) に準拠しています。2019 年 6 月版の MARC 21 から BIBFRAME の変換ツールでは、880 フィールドの情報を、対応付けられている正規フィールドの変換先クラスに記録し、オカレンス番号は無視する仕様になっています。

- [7] LC は、BIBFRAME から MARC 21 への変換ツールとして、以下を開発し公開しています。

変換仕様

“BIBFRAME 2.0 to MARC 21 Conversion Specifications” .

<https://www.loc.gov/bibframe/bftm/>, (参照 2020-06-30).

変換ツール

“XSLT application to generate MARCXML from BIBFRAME RDF/XML” .

<https://github.com/lcnetdev/bibframe2marc>, (参照 2020-06-30).

比較ビューワ

“Compare BIBFRAME converted to MARC” .

<https://id.loc.gov/tools/bibframe/comparebf>, (参照 2020-06-30).

なお、非ラテン文字の表現については、[LC の MARC 21 フォーマットの付録 D「マルチスクリプトレコード」のモデル B](#) を採用しています。モデル B では、非ラテン文字を正規フィールドに入力し、翻字形は（少なくとも正規フィールドと対応する形では）入力しません。

- [8] 第 1 回会議の資料などは、以下に掲載されています。

<https://wiki.dnb.de/display/EBW/EUBFWS2017>, (参照 2020-06-30).

なお、会議の参加者数は資料により異なるため、上記 URL の「Summaries and Reports」に記載されている数としました。

- [9] 第 1 段階で実現される機能の例として、以下が挙げられています。

- データを BIBFRAME に変換するのに役立つ属性と関連を管理する。
- RDA の指示とガイドラインを使って目録を作成する。
- MARC レコードを URI で管理し、拡張する。
- ILS レベルで書誌レコードと典拠レコードの間のリンクを管理する（システムがリンクの一貫性を保証するので、変換が容易になる）。

- [10] 第 2 回会議の資料などは、以下に掲載されています。

<https://www.casalini.it/EBW2018/>, (参照 2020-06-30).

なお、会議の参加者数は資料により異なるため、上記 URL の「Workshop Results」に記載されている数としました。

[11] 第 3 回会議の資料などは、以下に掲載されています。

<https://www.kb.se/samverkan-och-utveckling/nytt-fran-kb/nyheter-samverkan-och-utveckling/2019-09-25-presen-ta-tio-ns-from-the-3rd-annu-al-bibframe-works-hop-in-euro-pe.html>, (参照 2020-06-30).

[12] スウェーデン国立図書館は、2018 年 6 月にプレスリリースを出しました。

“KB becomes the first national library to fully transition to linked data” .

https://www.mynewsdesk.com/se/kungliga_biblioteket/pressreleases/kb-becomes-the-first-national-library-to-fully-transition-to-linked-data-2573975, (参照 2020-06-30).

コラム:外国刊行洋図書への典拠リンク拡大について

国立国会図書館では、2012 年から段階的に外国刊行洋図書[1]の書誌データと典拠データとのリンクを拡大しています。従来、書誌データと典拠データとのリンク（以下、「典拠リンク」）は日本国内で刊行された図書などに対して行ってきたもので、外国で刊行された洋図書についても典拠リンクすることによって、著者検索の際に図書の出版地や言語にかかわらず、まとめて検索できるようになります。このコラムでは外国刊行洋図書への典拠リンク拡大の進捗をご報告します。なお、外国刊行洋図書については、当館の典拠データがすでにある場合にのみ典拠リンクしています。

1. 典拠リンク拡大の効果

「この学者の本の邦訳は?」「この作家の絵本を探している。日本語でなくてもかまわない」など、言語をまたぐ検索が必要になる場面はしばしばあります。しかし、言語が違えば人名表記も変わってきます。このようなとき、言語を横断した検索を可能にするのが、洋図書で拡大している典拠リンクです。具体的な検索事例をご紹介します。

たとえば、2018 年に国際アンデルセン賞を受賞したイーゴリ・オレイニコフ(Игорь Олейников)の絵本を探すとします。

[国立国会図書館検索・申込オンラインサービス（国立国会図書館オンライン）](#)の詳細検索画面で、著者・編者の欄に「イーゴリ・オレイニコフ」を入れて検索し、検索結果の資料タイトルをクリックして詳細な書誌情報を表示します。

ちいさなタグボートのバラード	
	
図書 ヨシフ・ブロツキー 詩, イーゴリ・オレイニコフ 絵, 沼野恭子 訳 東京外国語大学出版会, 2019.11 冊子体 ; [32p] ; 31cm	
請求記号	タイトル
Y18-N20-M47	ちいさなタグボートのバラード
国立国会図書館書誌ID 030098660	タイトル読み
日本全国書誌番号 23332829	チイサナ タグボート ノ バラード
その他のMARC番号 34009406	著者
出版地 (国名コード) JP	ヨシフ・ブロツキー 詩
言語 jpn	イーゴリ・オレイニコフ 絵
原文の言語 rus	沼野恭子 訳
ISBN 978-4-904575-77-2	出版事項
	府中(東京都) : 東京外国語大学出版会
	出版年月日等
	2019.11
	大きさ、容量等
	[32p] ; 31cm
	別タイトル
	Баллада о маленьком буксире
	注記
	原タイトル: Баллада о маленьком буксире
	価格
	1900円
	著者標目
	Brodsky, Joseph, 1940-1996
	Oleynikov, Igor, 1953-
	沼野, 恭子, 1957-

図1 国立国会図書館オンライン 著者・編者「イーゴリ・オレイニコフ」で検索した結果の一例

「著者標目」の欄には、イーゴリ・オレイニコフの典拠の標目形「Oleynikov, Igor, 1953-」があります。標目形の右側の虫眼鏡マークをクリックすると、標目形（著者標目）で再検索を行い、日本語・ロシア語の資料 30 件（2020 年 3 月末現在）が表示されます。ここには、カナ表記が少し異なる同一人物「イゴール・オライニコフ」の本も含まれています。

図 2 国立国会図書館オンライン 典拠の標目形「Oleynikov, Igor, 1953-」で検索した結果

このように、典拠の標目形を使った検索を行うと、言語による表記の違いに制限されずに検索できます。

典拠を通じた書誌の検索は[国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス \(Web NDL Authorities\)](#) から可能です。まずキーワード検索で著者名を検索し、ヒットした典拠データの詳細情報画面で著者名検索ボタンをクリ

ックすると、[国立国会図書館サーチ](#)（2021 年 1 月からは国立国会図書館オンラインに変更予定）で典拠データにリンクしている書誌の検索が行われ、言語を横断した検索ができます。

2. 外国刊行洋図書への典拠リンクの歩み

典拠データのリンク範囲を拡大し、より便利な検索を実現するためには、新規に作成するデータだけでなく、過去に作成したデータも含めたすべての書誌データに典拠リンクが必要ですが、一挙に膨大な量のデータを整備することはできません。そこで、外国刊行洋図書については、以下のように段階を追って作業を進めてきました[2]。

(1) 日本人・日本の団体の典拠リンク

日本の国立図書館として、まず日本人の著者から着手することにしました。2012 年 8 月から、新規に整理する資料のうち、編著者が日本人（個人）の書誌データを典拠リンクすることとしました。

2013 年 4 月には編著者が日本の団体である書誌データについても典拠リンクを開始しました。同年 10 月からは、日本人（個人）と日本の団体について、過去に作成した書誌データにさかのぼって典拠リンクする、遡及リンクを開始しました。

2014 年 9 月には、日本人・日本の団体の遡及リンクが完了しました。これ以降も、新規に整理する際には典拠リンクを行っています。

(2) 外国人・国際機関の典拠リンク

外国人については、2015 年 3 月から、新規に整理する資料の編著者に典拠リンクを開始しました（3 月に試行、4 月に正式始動）。また、過去に作成した書誌データについても遡及リンクを開始しました（2020 年 6 月末現在、作業の 9 割以上を完了）。同時に、国際機関の典拠リンクも開始しました。国際機関の典拠の遡及リンクは 2016 年 4 月に完了し、日本人・日本の団体の典拠と同様に、新規に整理する際の典拠リンクも継続しています。

そのほか、外国人の遡及リンク作業における調査を通じて、これまで不明だった生没年を付記したり、同一人物とされていた同名異人の典拠を分離したりといった典拠データの品質向上も行っています。

今後もこうした改善を行いながら、外国刊行洋図書の典拠リンクと遡及リンクを進めていきます。

早川 萌

（はやかわ めい 外国資料課）

[1] このコラムでは、外国語で書かれた資料のうち、アジア諸言語資料、逐次刊行物、一枚ものの地図を除く資料を「洋図書」と称しています。国内刊行洋図書、外国刊行和図書はここでの「外国刊行洋図書」には含まれません。

[2] 典拠リンク開始時の状況については、以下をご覧ください。

収集・書誌調整課 書誌調整係. おしらせ：外国刊行図書の日本人著者について典拠リンクを開始しました.

NDL 書誌情報ニュースレター. 2012 年 3 号 (通号 22 号) ,

https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_3535479_po_2012_3.pdf?contentNo=1#page=12, (参照
2020-06-30).

お知らせ:和図書の著者標目付与数を拡大しました(2020 年 4 月)

国立国会図書館は、2020 年 4 月から、和図書の書誌データに付与する著者標目の数を拡大しました。

拡大の対象は、和図書のうち「[整理区分ごとの書誌データ水準](#)」(PDF: 381KB)に定める、全国書誌グループ全-1 (一般書) および全-4 (児童書) の資料群です。2020 年 4 月以降に作成したこれらの書誌データでは、著作に責任を有する創作者等に該当すると判断した個人または団体のすべてに著者標目を付与します[1]。

これは、2021 年 1 月に『[日本目録規則 2018 年版](#)』の適用を開始するにあたって作成した「[個人に対する典拠形アクセス・ポイントの選択・形式基準 \(2021 年 1 月\) \(案\)](#)」(PDF: 463KB) および「[団体に対する典拠形アクセス・ポイントの選択・形式基準 \(2021 年 1 月\) \(案\)](#)」(PDF: 558KB) の規定のうち、典拠形アクセス・ポイントの付与数に関する規定を、試行的に先行して適用したものです。

図 1・図 2 は、2018 年 11 月に初版が発行され、2020 年 4 月に改訂版が発行された、『図説建築構法』という資料の[国立国会図書館検索・申込オンラインサービス \(国立国会図書館オンライン\)](#) の書誌詳細画面の一部です。2020 年 3 月以前に作成した初版のデータ (図 1) と、2020 年 4 月以降に作成した改訂版のデータ (図 2) を比較すると、責任表示に記録される著者は同じ 6 名ですが、著者標目の数が 4 から 6 へ増えています。

図説建築構法 = Design of Building Systems		
図書 南一誠 編著, 池尻隆史, 石山央樹, 岡路明良, 村上心, 山崎雄介 著 学芸出版社, 2018.11  冊子体 ; 197p ; 26cm		
著者標目	南, 一誠, 1956-	 
	池尻, 隆史, 1976-	 
	石山, 央樹, 1975-	 
	岡路, 明良, 1963-	 

図 1 国立国会図書館オンライン 『図説建築構法』書誌詳細表示画面 (初版 2018 年 11 月発行)

図説建築構法 = Design of Building Systems 改訂版		
図書		
南一誠 編著, 池尻隆史, 石山央樹, 岡路明良, 村上心, 山崎雄介 著		
学芸出版社, 2020.4		
	冊子体 ; 203p ; 26cm	
著者標目	南, 一誠, 1956-	 
	池尻, 隆史, 1976-	 
	石山, 央樹, 1975-	 
	岡路, 明良, 1963-	 
	村上, 心	 
	山崎, 雄介	 

図 2 国立国会図書館オンライン 『図説建築構法』書誌詳細表示画面（改訂版 2020 年 4 月発行）

今回の変更により、典拠データを通じて検索できる書誌データがより広がります。どうぞご利用ください。

（国内資料課）

[1] 2020 年 3 月以前に作成した書誌データでは、著者標目をそれぞれの役割表示ごとに 3 番目まで付与していました。

国立国会図書館. 個人名標目の選択・形式基準（2012 年 1 月以降）（2017 年 8 月改訂版）.

https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/accesspoint/personal2012_rev.pdf,（参照 2020-07-03）.

国立国会図書館. 団体名標目の選択・形式基準（2012 年 1 月以降）（2017 年 8 月改訂版）.

https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/accesspoint/corporate2012_rev.pdf,（参照 2020-07-03）.

お知らせ:「日本十進分類法(NDC)新訂 10 版分類基準」を 改訂しました(2020 年 6 月)

国立国会図書館は、2020 年 6 月、「日本十進分類法 (NDC) 新訂 10 版分類基準」を改訂しました。
今回の改訂内容は、分類記号 361.42 (地方性, 国民性, 民族性) の運用変更です。詳しくは、以下のページをご覧ください。

日本十進分類法 (NDC) 分類基準

https://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/index.html#ndc

(収集・書誌調整課 書誌調整係)

お知らせ：令和元年度書誌データ統計を掲載しました

令和元年度書誌データ統計を、「[統計からみた書誌データ（平成 28 年度以降）](#)」のページに掲載しました。内容は、資料種別ごとの書誌データ作成件数、雑誌記事索引データの作成件数、典拠データの提供件数、JAPAN/MARC 提供件数および分類別図書整理統計です。

また、以下のページに書誌データ作成の所要日数なども掲載していますので、ご覧ください。

[令和元年度サービス実績](#)

(収集・書誌調整課 書誌サービス係)

お知らせ:NDL-Bib の終了について(予告)

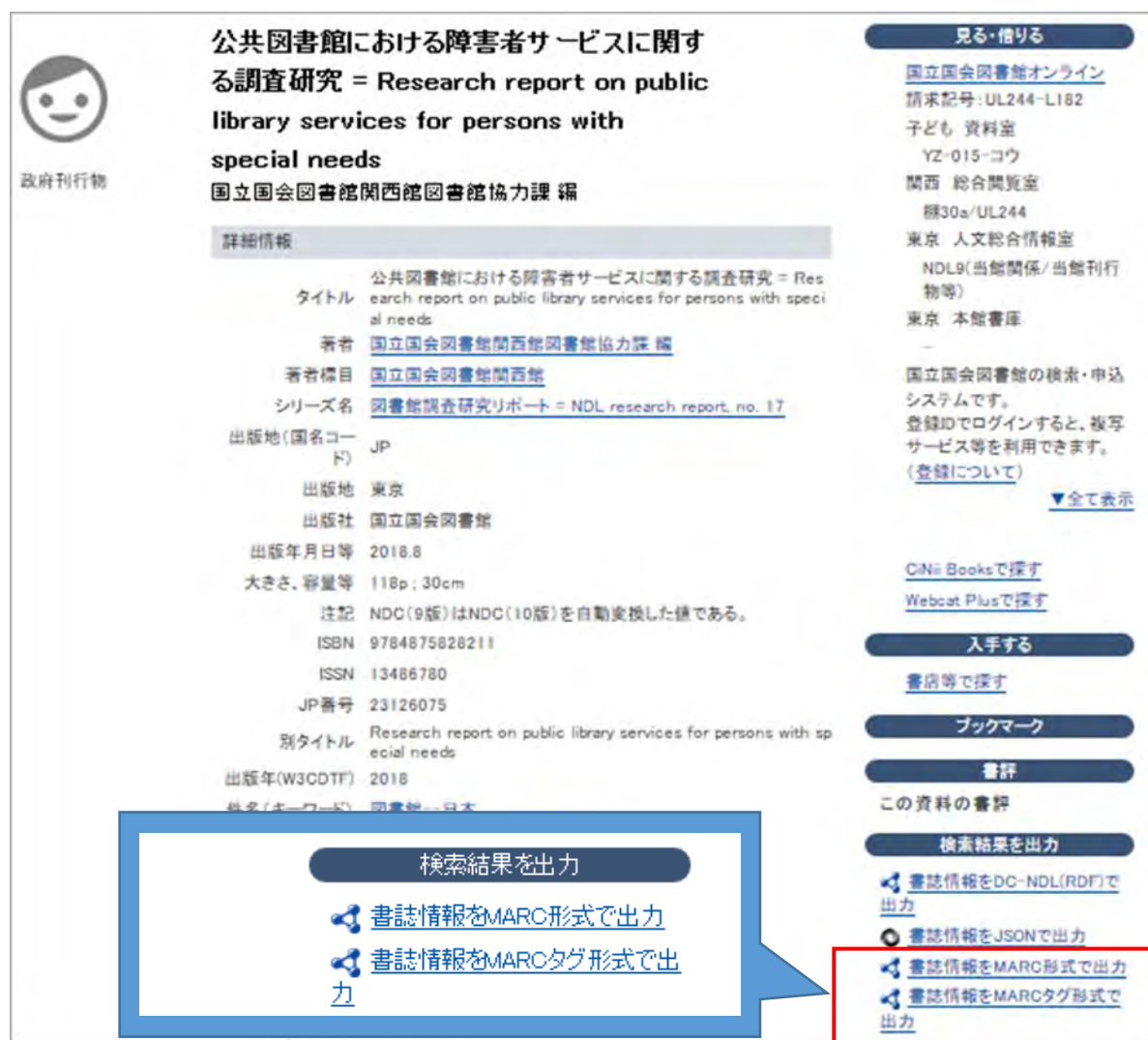
2020 年 12 月 28 日(月曜日)をもって[国立国会図書館書誌提供サービス \(NDL-Bib\)](#)を終了します。NDL-Bib を通じて書誌データを利用されている場合は、ご注意をお願いいたします。2021 年 1 月以降、NDL-Bib のページにアクセスした場合はエラーとなります。

2021 年 1 月以降、書誌データのダウンロードには、次のサービスをご利用ください。

➤ [国立国会図書館サーチ](#)

タイトルごとの詳細画面から、MARC 形式または MARC タグ形式の書誌データを 1 件単位でダウンロードする機能を追加する予定です。対象は国立国会図書館が作成した書誌データで、検索結果一覧画面から検索集合でのダウンロードはできません。

外部提供インタフェース(API)や RSS、DC-NDL 形式および JSON 形式でのダウンロードは従来どおり利用できます。詳細については国立国会図書館ホームページ「[全国書誌データ提供—国立国会図書館サーチからの提供](#)」をご覧ください。[本誌 2019 年 4 号](#)でご紹介した「[NDL 書誌データ取得・検索シート](#)」も引き続き利用可能です。



公共図書館における障害者サービスに関する調査研究 = Research report on public library services for persons with special needs
 国立国会図書館関西館図書館協力課 編

政府刊行物

詳細情報

タイトル 公共図書館における障害者サービスに関する調査研究 = Research report on public library services for persons with special needs

著者 国立国会図書館関西館図書館協力課 編

著者標目 国立国会図書館関西館

シリーズ名 図書館調査研究レポート = NDL research report, no. 17

出版地(国名コード) JP

出版地 東京

出版社 国立国会図書館

出版年月日等 2018.8

大きさ、容量等 118p ; 30cm

注記 NDC(9版)はNDC(10版)を自動変換した値である。

ISBN 9784875828211

ISSN 13486780

JP番号 23126075

別タイトル Research report on public library services for persons with special needs

出版年(W3CDTF) 2018

题名(キーワード) 図書館—日本

見る・借りる

国立国会図書館オンライン
 請求記号: UL244-L182
 子ども 資料室
 YZ-015-コウ
 関西 総合閲覧室
 棚30a/UL244
 東京 人文総合情報室
 NDL9(当館関係/当館刊行物等)
 東京 本館書庫

国立国会図書館の検索・申込システムです。登録IDでログインすると、複写サービス等を利用できます。(登録について)

▼全て表示

CiNii Booksで探す
 Webcat Plusで探す

入手する

書店等で探す

ブックマーク

書評

この資料の書評

検索結果を出力

書誌情報をDC-NDL(RDF)で出力

書誌情報をJSONで出力

書誌情報をMARC形式で出力

書誌情報をMARCタグ形式で出力

図 2021 年 1 月からの国立国会図書館サーチ画面 (予定)

➤ 国立国会図書館検索・申込オンラインサービス (国立国会図書館オンライン)

検索結果一覧から、検索結果の書誌データと雑誌記事索引データをダウンロードすることができます(上限 100 件まで)。データ形式は TSV 形式と BibTeX 形式です。本誌 2018 年 3 号でダウンロード方法をご紹介します。

➤ JAPAN/MARC データ (毎週更新)

全国書誌データおよび典拠データの更新分(新規作成・更新・削除)を週次でダウンロードできます。データ形式は MARC 形式と MARC タグ形式です。

2019 年 4 月から国立国会図書館ホームページ上で提供を開始しました。

※全国書誌データとは、国立国会図書館が納本制度に基づき収集した国内出版物のほか、寄贈、購入等の方法により収集した国内出版物と外国で刊行された日本語出版物の標準的な書誌データです。

※データは週次単位で一つのファイルに収録されています。ダウンロードはファイル単位でのみ可能です。

➤ 雑誌記事索引データ

雑誌記事索引データの更新分（新規作成・更新・削除）を週次でダウンロードできます。データ形式は MARCXML 形式です。

2019 年 4 月から国立国会図書館ホームページ上で提供を開始し、2019 年 11 月にはオンライン資料編が加わりました。

※雑誌記事索引の収録対象は紙媒体またはパッケージ系電子出版物の形態で刊行された雑誌の記事、オンライン資料編の収録対象は紙媒体等での刊行を停止し、インターネット等を通じてのみ刊行されるようになった雑誌の記事です。

※雑誌記事索引のデータは週次単位で一つのファイルに収録されています。ダウンロードはファイル単位でのみ可能です。

※オンライン資料編の提供は半年に 1 回の予定です。提供時点の更新分が一つのファイルに収録されています。ダウンロードはファイル単位でのみ可能です。

※雑誌記事索引では、採録対象誌の新着号の記事情報を、雑誌のタイトルごとに [RSS 配信するサービス](#)を提供しています。すでに利用されている方は、NDL-Bib の終了までに、RSS の配信設定を、新しい配信用アドレス（https://id.ndl.go.jp/rss_a/）に変更していただきますようお願いいたします。

(本件に関するお問い合わせ先)

収集書誌部 収集・書誌調整課 書誌サービス係

メールアドレス : bibinfo@ndl.go.jp

(収集・書誌調整課 書誌サービス係)

NDL 書誌情報ニュースレター(年 4 回刊)

2020 年 2・3 号(通号 53・54 号) 2020 年 9 月 25 日発行

編集・発行 国立国会図書館収集書誌部

〒100-8924 東京都千代田区永田町 1-10-1

E-mail: bib-news@ndl.go.jp (ニュースレター編集担当)